

## 事業所特別安全祈念日

東長原事業所では、過去2008年8月9日と11月15日に二度ホスゲン漏洩事故を発生させた反省と教訓が風化しないよう毎年8月9日を事業所特別安全祈念日と定め、安全に関する様々な行事を行っています。

当日は事業所稲荷神社で、事業所長以下管理職全員と、ユニオン、職場及び場内協力企業の代表者が参列して安全祈願を行い、ホスゲンを取り扱う設備を運転管理しているFC課の職場代表者による安全宣言があった後、安全祈念行事の講演が行われ記念館と事業所内へリモート配信されました。



稲荷神社での安全祈願

西村事業所長からは「CC(ホスゲン)漏洩事故を振り返って」と題した講演が行われ、事故発生の背景や状況、その後の経過について当時を振り返っての説明がありました。

安全最優先を一人ひとりが理解して行動に移していく事が重要であり、安全や安定操業は、心に余裕を持ち、安心した気持ちを持った上で成り立つものであるとの話がありました。

また、前事業所長で本社レスポンスブル・ケア部の窪田さんから「事故・災害の再発防止」と題し根本原因分析による事故調査の方法について安全講話がありました。事故の原因は目に見えない所に潜んでおり、異なる要因が複雑に絡んでいるため、それぞれの事故に応じた真の要因を深く追求する必要がある事、そしてその手法について説明されました。

事業所特別安全祈念行事を通じて、私達は、過去から学んだ事を活かして、今後も安全最優先を意識する事を従業員一同強く感じた一日となりました。



安全祈念行事講演



聴講の様子

## 納涼花火大会

8月26日、納涼花火大会を開催しました。

東長原事業所では、場内企業の従業員及び家族の懇親と、東長原近隣8地区の地域の皆様とのコミュニケーションを目的として、毎年8月に納涼祭を開催しています。

コロナ禍により2019年以来中止となっていましたが、今年は参加人数の制限や水分補給以外の飲食禁止及び入場口へのサーモカメラの配置等の新型コロナウイルス感染症対策をとりながら花火大会をメインにして開催しました。

事業所のグラウンドには子供向けアトラクションのミニSLや輪投げ、ストラックアウトを設置し、屋台が出せない代わりに例年より子供向け景品を充実させました。また、納涼祭で毎年恒例の大抽選会では、大小さまざまな景品の当選番号が読み上げられるたびに皆さんが一喜一憂して盛り上がりました。

最後に行われた今回のメインイベントである花火大会では、スターメインや4号玉をはじめ例年の約3倍となる210発の花火を盛大に打ち上げました。例年は短時間で一気に打ち上げていましたが、今年は花火店や音響会社の方と相談して、BGMをつけたり、花火解説などのMCを入れたりして、すぐ頭上に上がる花火をゆっくり楽しんでいただきました。

コロナ禍でイベントが相次いで中止になり、従業員及びご家族、地域の皆様との交流の場が減ってしまいましたが、今回の花火大会でマスク越しにでも久しぶりに皆さんの笑顔が見られた事を大変嬉しく感じています。

今後も工夫をしながら皆さんに楽しんでいただける納涼祭の運営を考えていきます。



ストラックアウト



大抽選会



沢山花火が上がりました

## アルミ缶チャリティー収益金による寄贈

東長原事業所では毎年、アルミ缶リサイクル活動にご協力いただいている地域の団体の皆様にご協力いただいた地域の方々にチャリティー収益金をもとにした物品寄贈を行っており、今年も2団体へ寄贈を行いました。

9月30日に、湯野上発電所がある下郷町の障がい者支援施設の下郷作業所ホイップ様へラベルプリンター、電気ポット、ケーブルストリッパー2台を寄贈しました。また、10月3日には、自立支援事業所くれよん様へはスティッククリーナー1台を寄贈しました。どちらの事業所様からも感謝の声をいただいております。

今後ご協力いただいている方々に喜んでいただけるよう、アルミ缶リサイクル活動に力を入れていきます。



ホイップ様への寄贈



くれよん様への寄贈